

ストレージ用デジタル基盤

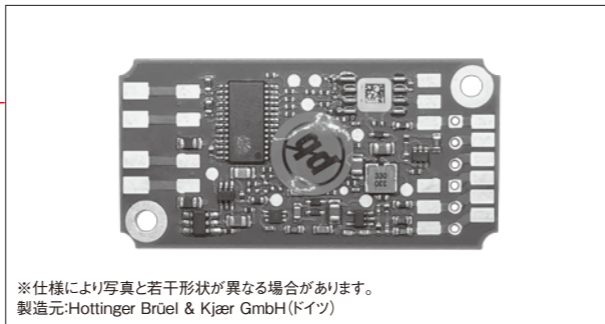
AD105Dseries

- シリアルインターフェース(UART)RS-485 2線式
- 計測信号のデジタルフィルタおよびデジタルスケールリング
- ASCIIコマンドによる通信 ●ヒステリシスを伴うリミットスイッチ
- 電源供給/ステータス表示 ●停電時におけるパラメータ内部保護
- パネルプログラムソフトウェアによるパラメータの設定および計測

●特長

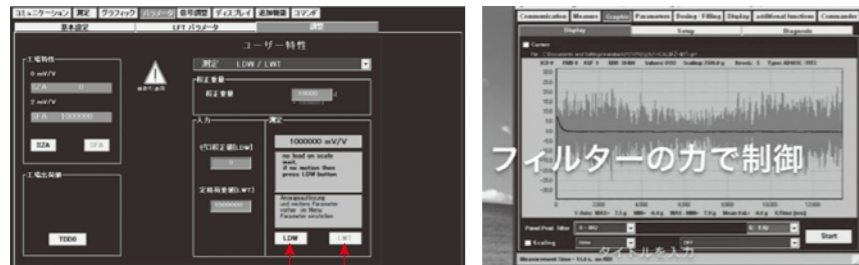
専用フリーソフトをダウンロードすれば、PC上で見ながら設定内容の確認が可能。
 初回設定は通信やコマンドの確認もできるため、専用フリーソフトのご使用をおすすめ致します。

※専用フリーソフト(対応OS:Windows 7・8・10)および取扱説明書は、弊社ホームページからダウンロードできます。



※仕様により写真と若干形状が異なる場合があります。
 製造元:Hottinger Brüel & Kjær GmbH(ドイツ)

調整 PCにて初期条件の洗い出し可能



ゼロボタン スパンボタン 各種振動等ノイズの制御が可能

PCソフトで初期設定や工程時間ピークホールド等が確認でき、フィルタのシュミレートも画面上で出来るので、何度もデータを取ることもなく製品開発の強い見方になります。

確認 グラフ機能を使えば動作確認が可能



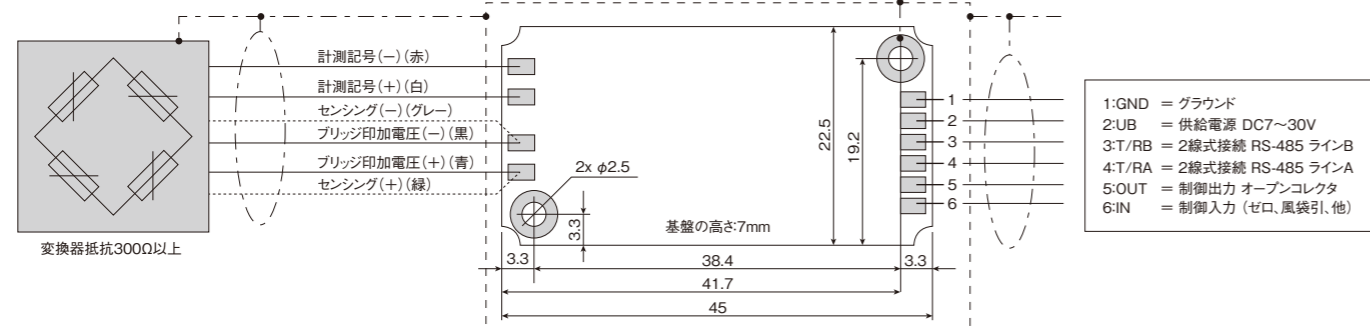
グラフ機能により、重量値変化・工程時間の把握・ピーク値の確認が可能で何度もデータ取りを繰り返さなくてもOK



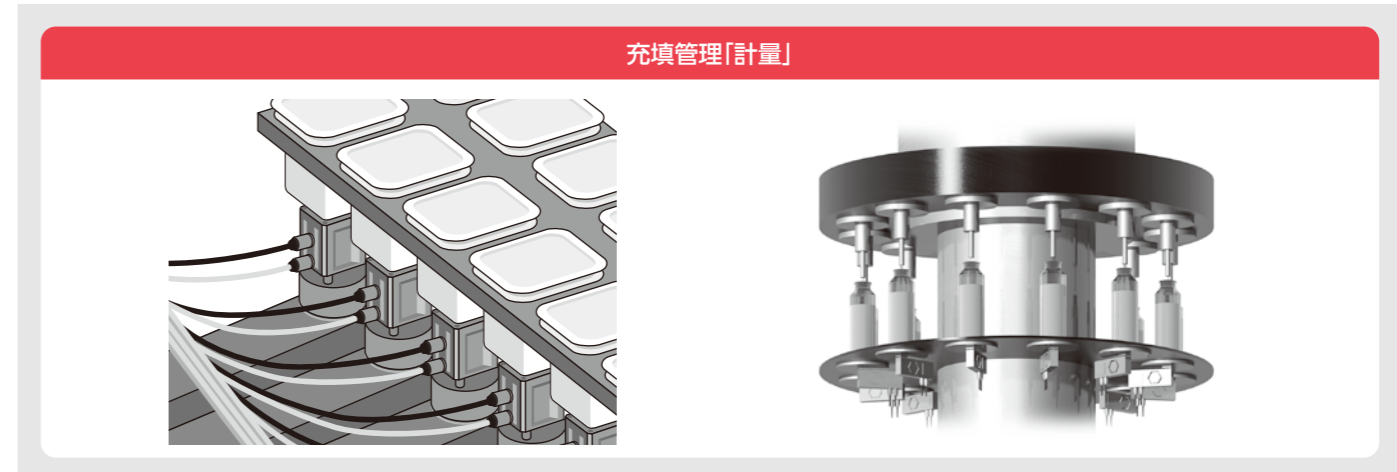
●仕様

精度	6000d(入力感度0.5μV/d以上)	シリアルインターフェース	
変換時のブリッジ抵抗	300Ω~4000Ω(センサと1対1でご使用ください)	電気的レベル	AD104-R5(RS-485) 低: B-A<0.35V 高: B-A<0.35V
ブリッジ印加電圧	AC5V	ボーレート	1200~115200Baud
最大計測範囲	±3.0mV/V	制御出力の最大電圧	30V
定格感度	2.0mV/Va	最大電流負荷、制御出力	95mA(7V時)、85mA(30V時)
計測信号分解能	24bit(1Hz時)	供給電源	DC7~30V
サンプリング速度	200, 100, 50, 25, 12, 6, 3, 2, 1 Hz (出力フォーマットおよびボーレートによる)	消費電流(350Ω変換時にて)	≦70mA
カットオフ周波数(-3dbにて調整可)	20~0.01Hz	温度補償範囲	-10~40℃
AED-コンピュータ間のケーブル長	RS485 ≤500m	許容温度範囲	-10~50℃
リニアリティ	±0.0025%(定格値にて)	保存温度範囲	-25~75℃
10℃あたりの温度影響	±0.002%	寸法	45(L)×22.5(W)×7(H)mm
定格値におけるゼロ点に対し	±0.002%	EN60529に基づく保護等級	IP00
定格値における計測感度に対し	±0.005%	重量	約50g

●外形寸法 [単位:mm] およびピン配列



●用途例



●推奨ロードセル

写真	型式	定格容量	非直線性	最大積載面	特長
	VPW4MC3	0.3, 0.5, 2, 3, 5kg	±0.0150%R.C.	200×200mm	シングルポイント 小型、高性能
	VSP4MC3MR	15, 20, 30kg 50, 75, 100, 200kg	±0.0166%R.C.	450×450mm 600×600mm	シングルポイント 高容量型
	VPW10AC3	50, 100, 150, 200, 250, 300kg	±0.0166%R.C.	600×500mm	シングルポイント 高容量型
	VS40AC3	50, 100, 200, 500kg 1, 2, 3, 5ton	±0.0180%R.C.	-	S字型ロードセル 型式はKN表記
	VPW25C3	10, 20kg	±0.0166%R.C.	400×400mm	シングルポイント過負荷1000% 完全密閉溶接構造 IP69K
	PW27	10, 20kg	±0.0166%R.C.	400×400mm	業界初EHEDG対応ロードセル シングルポイント過負荷1000% 完全密閉溶接構造 IP69K

●注意

AD105Dアンプ基盤は放電に対して保護されていません。変換器に組み込まれる際に適切な安全予防措置をとらなければなりません。
 ※RS-485 4線入力機器の場合、ジャンパーをご使用ください。(機器メーカーの取扱説明書をご確認ください。)

●EMC保護への重要なお知らせ

AD105Dアンプ基盤はシールドされたハウジングに組み込んでください。
 ケーブルもシールド線をご使用ください。
 全てのシールド線はロードセルおよびAD105Dアンプ基盤の組み込まれたハウジングに結線してください。

●AD105Dを調整する際は、RS-485インターフェース通信となりますので、事前設定としてアドレスADR、ボーレートBDR、パリティ、ターミネータTEX、出力フォーマットCOF等の設定が必要です。

初期値	初期アドレス 31	初期パリティ(無)	初期ストップビット =1bit
	初期ボーレート 9600bps	CRLF(有効)	

※シーケンサの能力により受信桁数がわかります。(参考 15bit ±10000表示以下)